

日照影響に関する調査結果

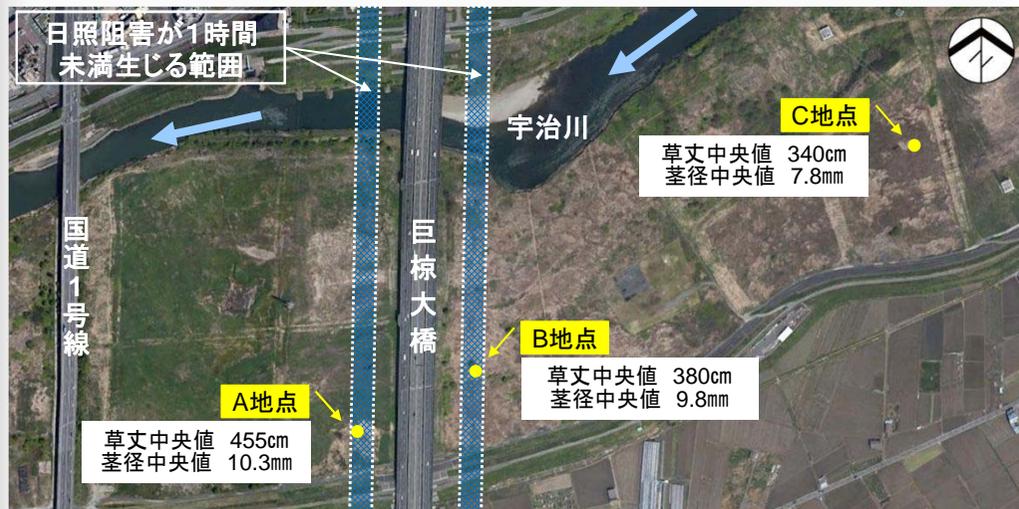
みち、ひと…未来へ。



1. 第6回検討会で実施した日照影響に関する検討結果



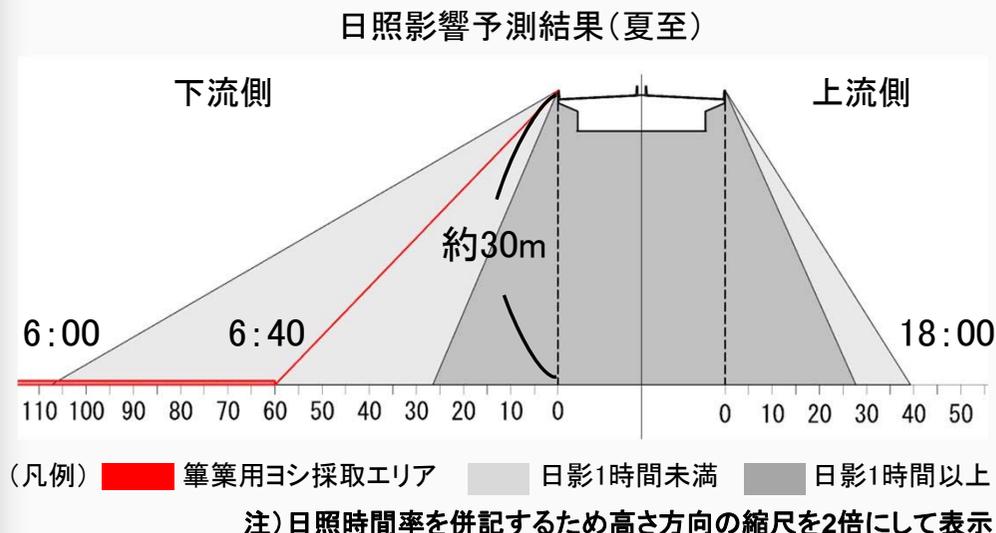
過去のヨシ原での架橋事例(巨椋大橋※1)における日照影響によるヨシ生育への影響を確認



【既往の調査結果※2】

日照影響が1時間未満の箇所(A・B地点)におけるヨシの草丈・茎径は、影響がない箇所(C地点)に比べてやや数値が高い傾向にある。

新名神高速道路における筆築用ヨシ採取エリアに対する日照影響について予測



【日照影響予測結果】

筆築用ヨシ採取エリアに対する日照影響は40分間(夏至 6:00~6:40)である。

考察

- 筆築用ヨシ採取エリアに対する日照影響は40分間(1時間未満)であり、巨椋大橋の事例からヨシの生育に対する日照障害の影響はないと推察

追認調査

- 鵜殿におけるヨシの生育状況を予測するために、巨椋大橋による日照影響について連続的な調査地点を設けた調査を実施し、現状におけるヨシ生育状況について確認



※1 阪神高速京都8号線 地面からの高さ約17m 幅約49m の橋梁 宇治川左岸側のヨシ原を横過

※2 『巨椋大橋環境対策総括報告書 平成21年3月 近畿地方整備局京都国道事務所』記載データ(平成20年調査実施)を参考

2. 日照影響に関する調査概要

◆ 調査区の設定

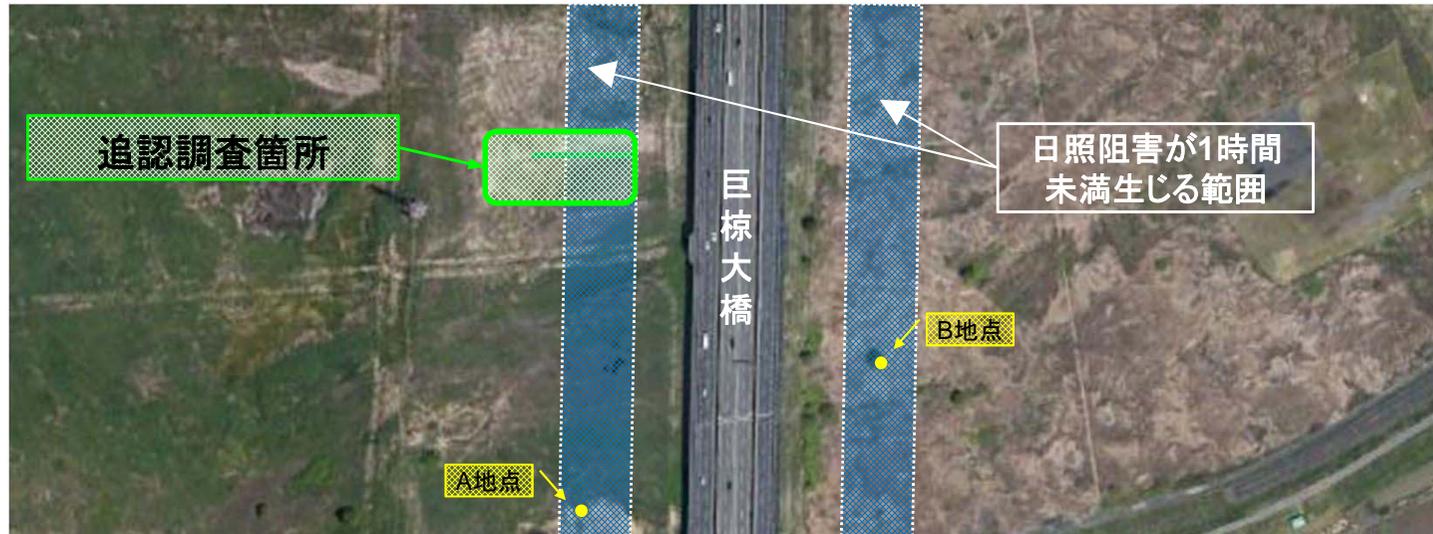
日照障害が1時間未満生じる範囲と対象区に、2.0m間隔で調査区(0.5m×0.5m)のラインを設置し、ライン周辺で、植生の群落状況を確認しながら調査区を設置した(各範囲5地点)。

日照障害が1時間未満生じる箇所	対象区(日照障害がない箇所)
23地点	11地点

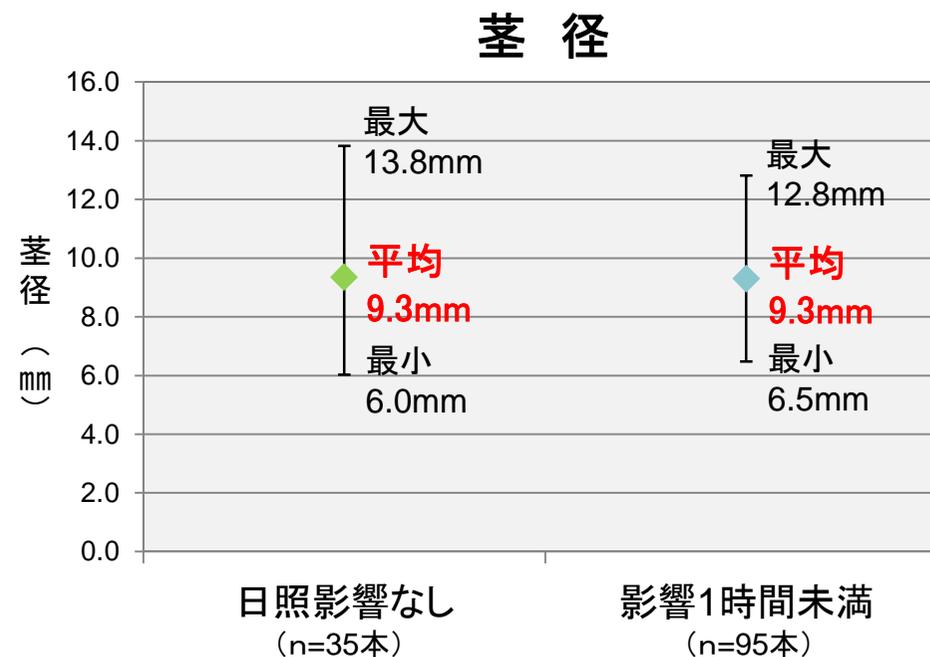
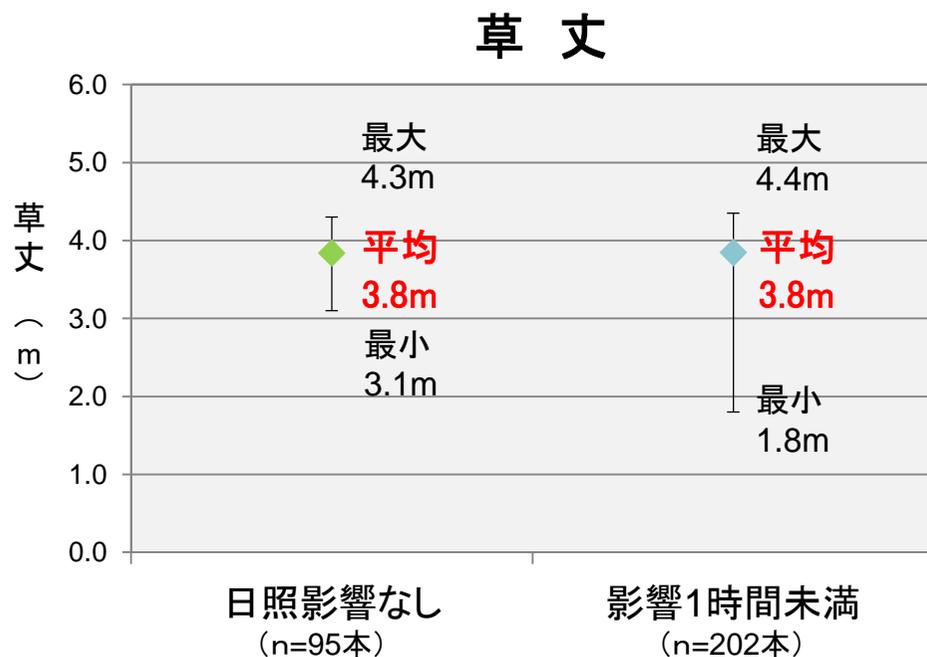
◆ 調査内容

草丈計測	茎径計測
<ul style="list-style-type: none"> 調査区内に生育するヨシの全数の草丈を計測 (計測単位は0.1m) 	<ul style="list-style-type: none"> 左記の計測個体から草丈が最高値、最低値及びそれ以外の3本(無作為抽出)の計5本を抽出して計測 (計測単位は0.1mm) 地表面から2節目の直下で、直交する2方向を計測

※調査は平成27年10月21日～23日及び12月25日で実施



3. 日照影響に関する調査結果



考察

- 日照影響が1時間未満の箇所と対象区では草丈及び茎径の平均値に差はない。

まとめ

- 日照影響が1時間未満であれば、ヨシの生育に影響がないことが確認された。